

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年11月6日

No.31

校長 坂野修一

心を一つに、とどけ早川サウンド♪



今年のスローガン、「心を一つに、とどけ早川サウンド」のとおり、ホール内に、早川南小学校の心地よいサウンドが届いたようです。自分自身が必死に(余裕なく?)演奏しているので、出来栄えははっきり分からないのですが、『マリーゴールド』の最後の和音がきれいに響いたのはわかりましたし、その瞬間、自分の鳥肌が立ったことは間違いありません。会場いっぱいの拍手もいただきました。保護者・関係者・知り合いの方々多数から、「とても良かった!」「素晴らしかった!」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。

今から、12月24日(火)のUTYテレビ放送が楽しみでなりません。ちょうどその日は2学期の終業式になっています。子どもたちが下校した後、職員室で見ることになるのでしょうか。帰宅後は、録画してある番組を、自慢げに家族に見せる私がいるのでしょうか。「親バカ」でなく「校長バカ」になって、クリスマスイブの食卓のテレビを占領したいと思います。

当日2階席で聴いていらした講師の3名の先生方からも、お褒めの言葉をたくさんいただきました。一部紹介しますと…

- ◎毎年、先生方と共演する子どもたちの演奏が楽しみです。かわいらしくダンスしていた1・2年生も、上級生の演奏を日頃から見聴きすることで、当たり前のように楽器を始めると考えると、素晴らしい伝統だと思います。
- ◎各楽器の音が良く出ています。統一感もありgood. 今年も、音の抜けがとても良いです。
- ◎楽しく演奏している気持ちがこちらに伝わってきました。緊張していると思いますが、とても落ち着いた演奏でした。そのことが曲のテンポで感じました。
- ◎プログラムにある「早川サウンド」会場いっぱいに響いていました。

49年目を迎えた本校の伝統であるこの活動…。児童数の減少に伴い、形を少しずつかえて取り組んできました。学校現場は年々忙しくなり、活動時間を確保することも難しくなりつつあります。しかし、全校で取り組み、全校が一つになって演奏することが、他の出場校にはない早川南小学校の良さです。これからも、早川南小学校がある限り継続したい取り組みだと私は思っています。

バンドフェスティバル当日の解散会で、「次の目標を見定めよう!」と全校の子どもたちに話しました。さしずめ、南小学校の読書週間が今日から始まりました。秋の夜長、読書をして心落ち着かせながら、令和元年のまとめ、2学期のまとめに向けて気持ちを切り替えてほしいと思います。

終わりになりますが、練習過程において子どもたちを励ましていただいたり、当日は、楽器運搬をお手伝いいただいたり、そして、何より大きな大きなご声援と労いの声をかけていただいたりした保護者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。



インフルエンザが早くも流行の兆しを見せているようです。季節の変わり目、急に寒くもなっており、一日の寒暖差が激しいです。お子さんの健康へのご配慮と、あわせて服装へのご配慮をお願いいたします。